

1 単元名 「大すき！ わたしたちの町〇〇 1」


2 単元の考え方

何のために

本学年の児童は、1年生の学習で校区の公園で遊んだり春夏秋冬みつけをしたりと、何度も校区を探検している。また、1学期に校区にいる生き物に進んでかかわり育てることで、それらに親しみをもったりふれあう楽しさに気付いたりすることができた。活動や体験の後に、気付いたことを提示物に表して伝え合う活動をする中で、表現力や考える力が少しずつ育ちつつある。

一方、自分の生活を広げて地域にある様々な場所やそれを支えている人々に関心を持ちそのよさに気付くまでには至っていない。

そこで、日常生活の中で、近くにあってもあまり意識していない地域の様々な場所や人々にふれ合う活動を通して、自分と友達の気付きを比べたりつないだりして考えながら、校区や人々のよさに気付き、それらに愛着をもち、自分の生活とのかかわりについて考えることができるようにしたい。


何を

本単元で、〇〇校区を取り上げていくことには次のような価値がある。

日常生活の中で、近くにあってもあまり意識していない地域の様々な場所や人々とかかわれる所を中心にとりあげ、〇〇校区のよさに気付く活動を展開する。

本校区には隣に〇〇〇〇大学があり留守家庭の児童が保育科の学生と交流した事もある。学校の一角には公民館があり利用している児童もいる。〇〇漁港もあり海岸で遊ぶ経験もしている。これらの施設へのかかわりは薄いですが、題材として取り上げることにより地域の様々な場所に目を向け、そこにかかわる人々にも気付くことができる。地域の人々や場所のよさに気付き、これを提示物を使って交流する伝え合う活動を通してさらに気付きの質を高めることができると考えた。

以上のことから、本教材で生活科学習内容（3）「自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」また、（4）の「公共施設の正しい使い方」という内容もあわせて達成できると考える。


どのように

まず、〇〇の町の様々な場所や施設の好きなどころを出し合い、「〇〇の町の好きなどころをたくさん見つけよう」というめあてをつかむ。探検したい場所を〇〇〇〇大学、公民館、保育園、〇〇漁港のグループに分ける。

次に、1回目の校区探検に行き、気付いたことを発見カードに書く。それを提示物としてつかい友達と校区のよさについて伝え合う活動①を行う。その際、発表の例示を活用できるように掲示しておく。自分の思いや願いをもつことで次の活動への意欲を高めたい。

校区の場所や人々とかかわれる児童は課外で繰り返しかかわることができるように支援する。

それから、2回目の探検をして新たな気付きを発見カードに書き、家の人が一番伝えたい〇〇の好きなどころを提示物として作成する。この提示物をつかって同じ施設の探検グループ（同質グループ）で伝え合う活動②を行い、〇〇の町のよさについての気付きを、比べる、つなぐ、たとえるなどの交流を通して気付きの質を高めることができると考える。

さらに、提示物を修正し、気付きの質を高めるために違う施設の探検グループ（異質グループ）で伝え合う活動②を行い、家の人へ伝えるという相手意識をもたせ、わかりやすく伝えるように交流させる。

最後に、見直した提示物をつかい高まった気付きを「家の人に〇〇の一番好きなどころを伝えよう」というめあてで伝え合う活動③を行い家の人と交流するようにする。

これらを通して、児童が〇〇の町のよさに気付き、〇〇の町に愛着をもって生活できるようにしたい。

こんな提示物で

(発見カード例)

<p>発見カード 名前【 ダンスは楽しい！</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px auto; text-align: center;"> <p>絵</p> </div> <p>サークルでおどったよ。 とっても楽しかったです。 わけはちいきの人とみんなでおどったからです。</p>	<p>発見カード 名前【 やすいにしたんのしょくどう</p> <p><u>カレーがおいしそう！</u></p> <p><u>おさががならんでた。</u></p> <p><u>わけは、べんきょう</u></p> <p><u>のあと、すぐたべる</u></p> <p><u>ことができるから。</u></p>
---	--

(その他の例)

<p>絵</p> 	<p>絵と実物</p> 
<p>写真に手を加えたもの</p> 	<p>実際の長さを示した板</p> 

(提示物の裏の例)

「○○○○について○○します。」

まず	ぼくの大発見は、 しらべかたは、 びっくりしたことは、 一番のひみつは、 わけは○○だからです。
次に	
それから	
さいごに	

「終わります。どうでしたか。」

○○の町で自分が見つけた好きなどころとそのわけを発見カードに書く。

発見カードは児童の実態に即して、絵と文のカードと、文のみのカードの2種類を用意する。

教師によるコメント「いいところに気付いたね。」「学校と比べたんだ。」「楽しいでつながるね。」「どうやって調べた?」等で気付きに価値付けをし、気付きの自覚をもつことができるようにする。

また交流することで友達の気付きを知ったり、よさを感じたりすることができると思う。

校区探検での気付き(発見カード)、調べてわかったことをもとに、施設の様子や人々のことなどを自分なりに分かりやすくまとめた提示物を作成する。

相手意識・児童の思い・願いに沿って、絵、絵と文、写真、実物等の方法から選択し、作成する。作成した提示物を用いて、○○の町の好きなどころを相手に分かりやすく伝える活動をする。(伝え合う活動)

この活動で、お互いの気付きのよさや調べ方を認め合い、気付きの質を高めることができるのではないかと考える。

伝え合う活動の手立ての一つとして発表の例示をする。

順序よく話せるように、「まず、次に、それから、最後に」といったキーワードを用いた伝え合いの仕方の例示をプリントにして配付し掲示する。

必要な児童には、提示物の裏にキーワードを書くようにする。これを参考にし、自分の気付きを伝え合うことができるようにする。

伝え合う時は、提示物を指し示したり、動かしたりしながら話すようにする。

こんな目標と指導計画で

3 単元の目標と指導計画（全23時間）

- 学ぶ意欲・態度
 - ・ 地域の人々や様々な場所に興味をもってかかわり、自分の生活を広げ、地域をもっと大切にしようとするができる。
- 問題を解決する力
 - ・ 地域の人々や様々な場所に興味をもってかかわりながら、地域のよさについて調べたいことを見いだすことができる。 （課題を発見する力）
 - ・ 地域の人々や様々な場所での活動の様子を見たり、インタビューをしたり、共に参加したりしていくことができる。 （人・もの・ことにかかわる力）
 - ・ 提示物をつかい、自分の気付きを友達の気付きと比べたりつないだりして地域の人々や様々な場所のよさについて考えることができる。 （考える力）
 - ・ 提示物を用いて、自分の気付きを相手に分かりやすく伝えることができる。 （表現する力）
- 生きて働く知識（気付き）
 - ・ 自分たちの生活は、地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かる。
 - ・ 地域の人々や様々な場所に親しみや愛着をもつことができる。
 - ・ 地域の人々と適切に接したり、様々な場所で安全に生活したりすることができる。
 - ・ 公共施設を正しく利用することができる。

段階	配時	学習活動と内容	指導・支援
で あ う	6	1 ○○校区の好きな場所や人についてのアンケートに答える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の意識を把握するために、○○校区についての簡単なアンケートをとる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どんな施設・場所を知っているか ・ よく行くところはどこか ・ ○○の町は好きか ・ よくかかわる人はいるか ○ 児童にとってかかわりの薄い場所に気付かせるために 漁港、大学の写真を提示する。 ○ 事前のアンケートや子どもの行きたいところを考慮して、探検の場所を決めるようにする。 ○ 探検のコースは漁港、大学、保育園、公民館の4コースに分かれる。 ○ 次の活動への意欲を高めるために、発見カードに書き、「よかったところ」「もっとしたいこと」を交流させる。
	①	2 ○○の町の好きな所について話し合う。 (1) ○○の町の好きな所を発表する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・○○や○○の店がある。 ・虫が捕まえられる公園もたくさん。 ・公民館で本を借りられるのがいい。 </div> (2) 写真を見て○○の町の好きな場所や人を考え、単元のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・写真のここはどこだろう？ぼくは知らないから○○の町の探検に行ってみたいな。 ・公民館の人だね。どんなことをしてるのかな。 ・○○の町にはいろいろな楽しい場所がありそう。漁港はどこにあるかな。 </div> 単元のめあて <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ○○の町にでかけて、すきなところをたくさん見つけよう。 </div>	
	①	(3) 探検の計画を立てる。 ・ 4つのコースに分かれる。	
	②	2 探検をして、見つけた○○の町の好きなところについて話し合う。 (1) 1回目の探検をし、好きなところを見つけて発見カードを書く。	
	①	(2) 発見カードをもとに交流し、振り返りを書き、もっと調べていきたいところをつかむ。 伝え合う活動① <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ・公民館は楽しそうなサークルがたくさんあって、地域の人が楽しんでいるよ。 ・大学の勉強のことがもっと知りたいから、誰かにインタビューしたいな。 ・今度は○○の魚を写真にとりたいな。 </div>	

<p>や っ て み よ う</p>	<p>13 3 探検の計画を立て、2回目の探検に行き、さらに見つけた〇〇の町の好きなどころを発見カードに書く。</p> <p>① (1) 1回目の探検で書いたメモやふり返りをもとに、2回目の探検で知りたいことをまとめ、探検の計画を立てる。</p> <p>② (2) 2回目の探検をし、新たな気づきを発見カードに書く。</p> <p>4 今までかいた発見カードをもとに、提示物をつくり、交流する。</p> <p>③ (1) 〇〇の町の好きなどころをまとめた提示物をつくる。</p> <p>① 本時 A</p> <p>(2) 提示物をつかって、〇〇の町の好きなどころを交流する。 伝え合う活動②</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは、〇〇さんの発表を聞いて、〇〇公民館の主事さんのことを知りました。〇〇の町みんなのために公民館で行事をしてがんばっている人だから、すごいです。 ・校区に漁港があることは知っていたけど、どこの場所にあるか分かりました。もっと漁港のことについて調べてみたいです。 </div> <p>② (3) 交流したことをもとに提示物をもう一度作り直す。</p> <p>① (4) 作り直した提示物をつかって2回目の交流をする。 伝え合う活動②</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の食堂のことは、ぼくはぜんぜん知らなかったよ。好きなメニューを食べられるなんてすごいな。 ・保育園の玄関は誰でも自由に入れないう。子ども達の安全のために自動の鍵がかかるようになってるよ。 ・〇〇で漁をしている〇〇君のお父さんは素潜りであわびやさざえをとるなんて、びっくりしたな。その魚を〇〇の夕市で売っているのを知り、お家の人と一緒に行ってみたいと思ったよ。 </div> <p>③ (5) 交流したことをもとに、もう一度提示物を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵、タイトル、話の内容、動作化等の提示物がおうちの人に分かりやすくでているか見直す。 	<p>○ 児童の新たな気づきを発見カードに付加・修正して書き、どんな提示物にするか話し合う。</p> <p>○ 児童の気づきを高めるために、提示物を使って、〇〇の好きなどころについて、友達の気づきと比べて交流する。同じ施設に探検に行った小グループ（同質グループ）での交流を行う。</p> <p>○ 視点を明確にして提示物を作り直すことができるように、前時を想起したり、学習のふりかえりをしたりするために、自分のファイルを用意する。</p> <p>○ 相手意識をもって発表させるために、お家の人に対し、〇〇の町大好き発表会をすることを確認する。</p> <p>○ 地域のよさや友達の気づきのよさをさらにとらえ、伝え合うことができるようにするために違う施設に行った小グループ（異質グループ）での交流を行う。</p> <p>○ 次の活動への意欲やめあてをもつことができるように、交流での新たな気づきやもっと工夫したいことなどを発表させる。</p> <p>○ 相手意識を明確にもち、より分かりやすい発表や提示物を準備できるように、前時に出した意見をもとに、見直すポイントを確認する。</p>
--	--	---

<p>も つ と や や っ て み よ う</p>	<p>4 ① ① 本 時 B ②</p>	<p>5 お家の人を招待し、「〇〇の町の大すき 発表会」をする。</p> <p>(1) お家の人へ招待状を書き、渡す。</p> <p>(2) お家の人へ〇〇の町大すき発表会をす 伝える活動③</p> <p>・〇〇の町の一番好きなところは保育園 の園長先生です。いつもにこにこして 「おはよう。元気かな。保育園にいつ でもあそびにおいで。」と優しく言っ てくれます。〇〇の一番すてきな笑顔 だからです。</p> <p>6 〇〇の町が一番好きなところを改めて捉 え、様々な場所や施設と自分のかかわりに ついて考えて、「学習をふりかえって」を 書いて振り返る。</p> <p>(1) 〇〇の町が一番好きなところや、自分 がこれからどうかかわっていくかを考え て、学習の振り返りを書き、交流する。</p> <p>・今まで〇〇の町の好きなところはあま り分からなかったけど、探検に行っ たり、友達の発表を聞いたりして、ぼく の知らない漁港や大学のことが分か りました。これからは、公民館に行 って本を借りたり、館長さんや主事 さんに挨拶したいと思いました。公 民館のサークルも楽しそうだったので、 今度また行ってみたいです。</p> <p>・私は、保育園に探検に行っただけ で、大学の〇〇先生や漁港の夕市を 知って、〇〇の町ってすごいと思 いました。今度、大学の先生に楽し いおもちゃの作り方も教えてほし いなと思います。</p>	<p>○ 〇〇の町が一番好きなところをおうちの人 に分かりやすく発表するために、提示物を使 いながら発表する。</p> <p>○ お家の人に事前に聞く視点を知らせ、質問 や感想を伝えてもらうようにする。</p> <p>○ 自分自身の地域へのかかわりを考えさせる ために、自分が〇〇の町で一番好きになっ たところとこれからどうかかわりたいかの視 点で振り返りに書くようにする。</p>
--	--	---	---

4 本時A 提示物をつかった伝え合う活動② (14/23)

5 本時の目標

- 提示物をつかい○○のすきなところを伝え合い、地域のよさや友達のよさに気付くことができる。

6 本時指導の考え方

- 児童は、前時まで、1回目の探検で地域について気付いたことを発見カードに書き、それをもとに友達と地域のよさについて交流した。そして、交流を通して自分の思いや願いをもとに、2回目の探検をして、好きなところを伝える提示物を作成している。
本時では、この提示物を活用して小グループで話し合う活動(伝え合う活動)を取り入れる。そのことで、児童一人一人が自分の気付きを十分に表現したり友達と自分の気付きを比べたりして、地域のよさ(人が楽しむ、働く人々、成長、あこがれ等)についての気付きを高めることができる。と考える。

そこで、本時指導にあたっては、特に、次のような手だてをとる。

(1) 提示物

本時では、友達に分かりやすく伝えるために、児童の実態や思い・願いに沿った提示物(絵・写真・実物等)を提示しながら、地域のよさの気付きを紹介し合う。児童の気付きがわかるように、できる児童は気付きの一言を入れたタイトルをつける。発表に必要な児童は、伝え合う活動がしやすくなるように、提示物の裏に「まず」「次に」「それから」「最後に」といったキーワードを書いておくようにする。

- ・ 八つ切り～四つ切り程度の絵、写真、実物



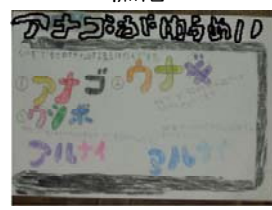
保育園
たいそうふくですぐにわかるよ。



公民館
おどりのサークル勉強もできるよ。



大学
しよくだうの人氣は？コンビニもあるよ。



漁港
土曜夕市があつてあなごがゆうめいだな。

(2) 交流の工夫

- 目的に応じた交流活動の形態
 - ・ 交流の仕方を表にしておき、確認する。気付きのよさ、調べ方のよさの視点をもつ。
 - ・ 一人ずつ提示物を使った発表のあとグループで交流をする。
 - ・ 同じ場所のグループごとに場を設け交流する。
 - ・ 小グループの交流の後、学級全体で小グループ交流後に書いたふり返りをもとに発表し、全体交流をする。

以上のような工夫をすることで、気付きの質を高めるようにしたい。

- 気付きの質を高めるための発問

- ・ 「○○と比べてごらん。」 → 「○○がちがってる。」
「どこが違うかな。」 「違うところに気付いたね。いいねえ。新しい気付きだ。」
- ・ 「○○と比べてごらん。」 → 「○○がにている。」
「どこが似ているかな。」 「似ているところによく気付いたね。気付きがつながったね。」
- ・ 「似ているところは何かでつながりそうだね。」
→ 「どちらも○○でつながるんだ。」
「よく気付いたね。こんないいところがあるんだ。」

7 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援
<p>1 本時のめあてと活動の仕方を確認する。</p> <p>(1) めあてを読んで、本時学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇〇の町のすきなところをつたえあおう</p> </div> <p>(2) 伝え合う場や方法を確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px; writing-mode: vertical-rl; margin-right: 5px;">黒板</div> <div style="display: flex; gap: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">保育園</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">漁港</div> </div> </div> <div style="display: flex; gap: 20px; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">大学</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;">公民館</div> </div> <p>①場所によって作った4～5人のグループに分かれる。</p> <p>②伝える人は作成した提示物や実物を示しながら発表する。</p> <p>③聞く人は自分の気付きと比べて発表を聞いたあと、気付いたことを話し合う。</p> <p>④伝える人を交代する。</p> </div> <p>2 探検したグループ内で提示物をつかい、伝え合う活動をして、気付いたことを話し合い学習の振り返りを書く。</p> <p>(1) グループで伝え合い、話し合う。</p> <p>(伝え合う姿の例)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館のおすすめは本があるところです。いろんな本があるので楽しいです。 ・いっぱい部屋があってダンスも出来ます。 ・〇〇君の発表で料理教室があると分かりました。私も行ってみたいので家の人にぜひ教えてあげたいな。どんな料理ですか。 ・アナゴを実際の大きさの絵で見せていたのがよかったです。どうやって調べたんですか。 ・タイトルのつけ方がおもしろかったよ。 </div> <p>(2) 「学習をふりかえって」を書く。</p> <p>(「学習をふりかえって」の例)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇さんの〇〇の夕市は楽しそうでいいなと思いました。ぼくも家の人と行きたいと思います。ここが〇〇のすきなところですよ。 ・大学の勉強はおふろの機械があっっておもしろかったです。ぼくも大学に入りたいです。 ・〇〇さんのクイズで家の人もよろこびそうだからぼくもやってみたいです。 ・〇〇くんの絵は大きく書いていてよく見えたね。 </div> <p>3 本時学習をふり返り、次時のめあてをつかむ。「学習をふりかえって」をもとに今日の学習について話し合い、次時の活動のめあてをつかむ。</p> <p>○ 違うグループに〇〇の町の好きなところを紹介して、よく分かるか見てもらおう。</p>	<p>○ これまでの活動の足跡は掲示しておき、いつでも今までの活動を想起できるようにする。</p> <p>○ 〇〇の町のすきなところを、同じグループで話し合うことで、家の人に知らせたい好きな所をはっきりさせ、本番の発表につなぐ時間であることを確認する。</p> <p>○ 活動にスムーズに移れるように、発表方法について全体確認し、発表中でも確認できるよう黒板に掲示する。</p> <p>○ 全員が発表できるように、交流の時間は15分とし、一人ずつ順番に発表する。</p> <p>○ 自分の気付きと比べて友達のよかったこと(気付きのよさ、調べ方のよさ)の視点で話し合いをする。</p> <p>○ 交流しやすいようにグループごとに座らせる。</p> <p>○ 一人一人の気付きが高まるように、教師は各グループを回り、発表や話し合いを聞き、発言等を賞賛したり、支援をしたりする。</p> <p>○ 友達や自分のよかったこと、自分がしてみたいことの視点で書くようにする。</p> <p>○ 本時の活動に対する達成感を味わわせたり、次時の活動へつなげたりすることができるように、全体に広げたい思いや願い、これからしてみたいことが明確になった児童を意図的に指名する。</p>

4 本時B 提示物をつかった伝え合う活動③ (21 / 23)

5 本時の目標

- 提示物をつかって、思いや願いを発表したり、〇〇の町の好きなどところに気付いたりすることができる。

6 本時指導の考え方

- 児童は前時までに校区にある保育園、大学、公民館、〇〇漁港に探検に行き、気付いたことを発見カードに書いている。児童は〇〇の町の一番好きなどところをグループで話し合い、新たに付加・修正された気づきをもとに提示物を作成している。

本時は、その掲示物を活用して、〇〇の町が一番大好きなところを保護者に伝える発表会の場面である。児童は探検を通して、地域の人々や様々な場所にかかわることで、自分の生活が楽しく豊かになることに気づき始めている。そこで、児童一人一人が〇〇の町の大好きなところを伝える発表会にするために、発表者が相手意識をもって少人数で発表しやすく、聞き手が質問や感想を伝えやすいワークショップ形式で行う。児童は地域や友達のよさを身近な人や家族に伝えたいという願いをもち、発表会に臨んでいる。

本時の「〇〇の町大さき発表会」を通して、児童は地域の人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、校区に親しみや愛着をもつことができると考える。

そこで、本時指導にあたっては、特に、次のような手だてをとる。

(1) 提示物

- 〇〇大学、保育園、公民館、〇〇漁港それぞれの探検場所での気づきをもとに、作成した提示物を準備する。この提示物は2回目の交流後、地域や友達のよさについての気づきを付加・修正して作成したものである。

(掲示物は八つ切り～四つ切り程度の絵、写真、実物等)



ポスター例



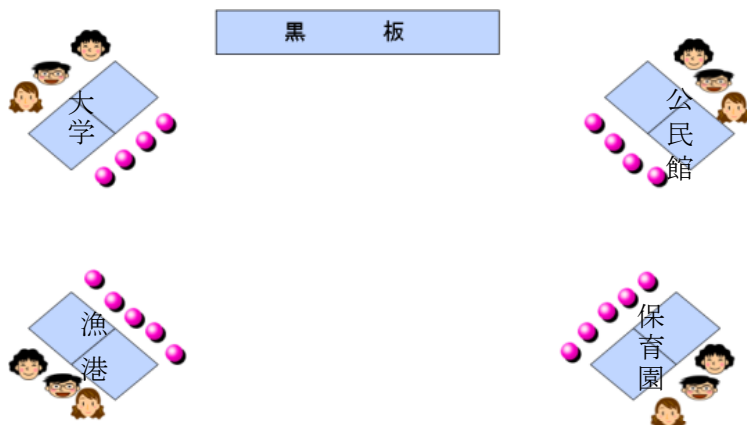
ペープサート例



紙芝居や絵本例

(2) 交流の工夫

- 目的に応じた交流活動の形態
 - ・ 同じ探検場所に行ったグループの児童が〇〇の町が一番好きなどところを分かりやすく発表でき、聞き手が質問や感想を伝えやすい場の設定をする。また、一人一人の発表の時間を十分に確保する。
- 相手意識をもった交流活動
 - ・ 〇〇の町が一番好きなどところを児童の一番伝えたい相手（保護者）に発表するように設定する。



7 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援
<p>1 本時のめあてと活動の仕方を確認する。 (1) めあてを読んで、本時学習の見通しをもつ。</p> <p>めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〇〇の町の一番すきなところをおうちの人につ たえよう。</p> </div> <p>(2) 伝え合う場や方法を確認する。</p> <p>(発表の仕方)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>① 探検に行った場所ごとのグループに分かれる。 ② 発表する人は作成した掲示物を示しながら発 表する。 ③ 聞く人は発表の内容について質問や感想を伝 える。 ④ 発表する人はその質問に答える。</p> </div> <p>2 提示物を使って〇〇の町の一番好きなところを発 表し、交流をする。 (1) 各グループに分かれて、発表する。 (児童の伝え合う場の例)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・まず、ぼくの一番好きな〇〇漁港の夕市につい て発表します。 次に、インタビューしてわかったことを一緒 に行ったグループの友達と作ったペープサートで 発表します。 最後に私が一番すごいと思ったことを発表しま す。〇〇君はお父さんみたいなかっこいい漁師 になりたいっていっていたので、すごいなと思 いました。そして、漁港では新 魚がいけす で いでいました。それが大発見です。 ・まず、私の一番好きなところは、公民館です。 理由は館長さんや主事さんが〇〇の町をすてき な町にするためにがんばっているからです。私 たちは調べたことを紙芝居にして発表します。 私は、公民館のサークルにも行ってみたいです。</p> </div> <p>(2) お家の人からの質問に答えたり、感想を聞いた りし交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇の一番好きなところが伝わったか。 ・児童はその好きな理由をはっきりと提示物を使 って発表できたか。 <p>3 本時学習をふり返る。 (1) 地域のよさや友達のよさについて気付いたこと をふり返って書く。 (学習を り返っての例)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・漁港から〇〇君のお父さんが漁に出て仕事をし ていることをお家に人に伝えると、よくわかったよ と言われてうれしかった。漁港の 子の話をした ら、食べてみたいって言われました。〇〇君のお 父さんは ット トルやごみを っているから本 にすごいなと思った。〇〇の町のことがもっと 知りたいな。</p> </div> <p>(2) 〇〇の町の好きなところや自分のよさについて 発表し、次時の活動のめあてをつかむ。</p>	<p>指導・支援</p> <p>○ 活動にスムーズに移れるように、発表 方法については、全体で確認し、黒板に 掲示しておく。</p> <p>○ 自分たちの思いや願いを発表できるよ うに交流する時間は25分とし、各グル ープ6分～ 分程度で発表する。 また、聞く (保護者) に対して、児 童の発表を聞き、質問や い感想をその 場で伝えてもらうことを確認しておく。</p> <p>○ 順序よく発表できるように、発表の仕 方を掲示しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>まず、わたしの一番好きなところは、</p> <p>次に、〇〇さんにインタビューしてわ かったことを、〇〇で発表しま す。</p> <p>さいごに、一番すごい・大発見・ひ みつは・・・ わけは・・・だからで す。 質問や感想はありません か。</p> </div> <p>○ 一人一人の気付きが高まるように、教 師は各グループを回り、発表を聞き、発 言等を賞賛したり、支援したりする。</p> <p>○ 保護者には、事前に聞く の2つの 点を知らせておくようにする。</p> <p>○ 相手意識、目的意識をもち、おうちの 人に発表できたか、学習を振り返る。 ・〇〇の好きなところを〇〇を使って分 かりやすく発表できたか。</p> <p>○ 次時の活動へつなげることができると うに、児童自身のよさや気付きのよさや 本時の活動に対する達成感を全体に紹介 する。</p> <p>○ 次の学習ではこの学習全体を通して、 〇〇の町のよさをふり返り、全体で話し 合うことを する。</p>